

森のようちえん

- 1 日時：平成30年5月5日（土・こどもの日）
午前の部 11：00～12：00
午後の部 13：15～14：15
- 2 場所：福井ふるさと学びの森（大野市 自然保護センター自然観察の森）
- 3 参加者：39人（大人21、子ども18）
- 4 講師：大石橋 節子さん、斎藤 寿子さん（自然観察指導員の会）
- 5 主催：福井県自然保護センター、福井県里山里海湖研究所
- 6 イベントのようす：



シマヘビに触りました

とてもよい天気の中、2歳から小学6年生までの元気いっぱい子ども達が集まりました。皆でたんぼぼの綿毛を飛ばし、森のようちえんが始まりました。

春の森ではたくさんの生きものを見つけることができます。歩き出すとすぐにシマヘビに遭遇。恐る恐る触ってみた子ども達でしたが、「すべすべしてる」、「ひんやりしてる」と大喜びでした。



珍しい昆虫が見つかるかな？

散策中に見つけた昆虫は、バグバグウォッチャー（虫眼鏡つき虫かご）に入れて全身を観察します。ソウムシやカミキリムシなど、たくさんの昆虫をつかまえることができたので、皆で見せ合いっこをしました。

川を渡ったり、木に登ってみたり、大人が少し危ないと思うようなことも、子ども達が自分で安全な方法を考えてチャレンジしている姿が印象的でした。

折り返し地点で少し休憩した後は、「いつでもどこでもビンゴ」ゲームをしながら帰ります。五感を使ってカードに描かれている自然の宝ものを探します。講師の大石橋さんが、「空に太陽がある」、「風がふくのを感じる」など、当たり前にあるような自然も意識して探してみることで、自分達の普段の生活が自然に囲まれていることを再認識できると説明してくれました。



登ることができる木を見つけたよ

講師の斎藤さんからは、ミチノクフクジュソウやミツガシワ、モリアオガエルなど、森の中のいろいろな動植物についての説明がありました。森のあちらこちらで草花も開花しており、大人の参加者も楽しむことができたようです。